

平成27年度

事業実績報告書



社会福祉法人 秀峯会

介護老人保健施設 つくしの里
通所リハビリテーション事業所 つくしの里
短期入所生活介護事業所 つくしの里
居宅介護支援事業所 つくしの里

〒853-3321

長崎県南松浦郡新上五島町鯛ノ浦郷437-1

TEL 0959-53-0007 FAX 0959-53-0005

<http://syuhokai.jp/>

e-mail tukushi@etude.ocn.ne.jp

目 次

I	介護老人保健施設つくしの里の経営	A 1
	1. 介護老人保健施設	A 1
	2. 短期入所療養介護	A 2
	3. 行事实施内容	A 3
	4. 職員研修	A 4
	4.1 施設外研修	A 4
	4.2 施設内研修	A 5
II	通所リハビリテーション事業所の経営	A 6
	1. 通所リハ	A 6
	1.1 基本方針	A 6
	1.2 サービス内容	A 6
	1.3 事業実施内容	A 6
	1.4 日課表	A 6
	1.5 利用者状況	A 7
	2. 生きがい対応型	A 8
	2.1 基本方針	A 8
	2.2 サービス内容	A 8
	2.3 利用者状況	A 8
	2.4 行事实施内容	A 9
III	短期入所生活介護事業所の経営	A10
IV	居宅介護支援事業所つくしの里の経営	A11
	1. 要介護度別利用状況	A11
	2. 給付管理表の提出状況	A12
V	介護報酬の状況	A13
VI	事故、ひやり・はっと発生状況	A14
	1. 事故発生状況	A14
	2. ひやりはっと報告状況	A15

I 介護老人保健施設つくしの里の経営

1. 介護老人保健施設

表1 月別入退所者数の状況

平成27年度中における各月1日現在の入所者数を表1に示す。表2及び図1に、平成28年3月31日現在(今後特に表記がない場合、示された数値は全て平成28年3月31日現在のものである。)の地区別入所者数を示す。

表3に入所者の年齢分布及び入所期間を示す。80歳以上が77%を占めており、平均入所期間は2年である。

また、入院日数は延べ663日、外泊87日で、稼働率は95.1%であった。

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 実人数
		入所	退所	
平成27年 4月	72人	5	1	77人
平成27年 5月	75人	6	5	81人
平成27年 6月	76人	3	2	79人
平成27年 7月	77人	6	5	83人
平成27年 8月	78人	3	7	81人
平成27年 9月	74人	5	4	79人
平成27年10月	75人	4	4	79人
平成27年11月	75人	5	4	80人
平成27年12月	76人	3	3	79人
平成28年 1月	76人	7	5	83人
平成28年 2月	78人	7	6	85人
平成28年 3月	79人	3	4	82人

表2 地区別入所者の状況

地 区	男性	女性	入所者数	
有 川	16	35	51人	65%
新魚目	3	10	13人	17%
上五島	2	7	9人	11%
若 松	1	2	3人	4%
奈良尾	0	0	0人	0%
町 外	1	1	2人	3%
合 計	23	55	78人	

図1 地区別入所者数

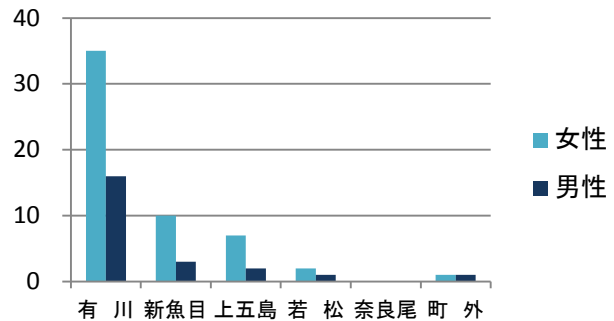


表3 入所者の年齢分布及び入所期間

年齢区分 (歳)	性 別	人 数	入所期間			
			6ヶ月未満	6ヶ月～	1年以上	5年以上
～64	男	2人	1	0	1	0
	女	0人	0	0	0	0
65～69	男	2人	0	1	0	1
	女	1人	0	1	0	0
70～79	男	6人	2	0	2	1
	女	7人	4	1	2	1
80～89	男	9人	2	1	6	0
	女	24人	4	7	12	1
90～	男	4人	1	0	3	0
	女	23人	5	3	13	2
小 計	男	23人	6	2	13	2
	女	55人	13	12	26	4
合 計		78人	19人	14人	39人	6人

平均年齢	男性	79.9 歳
	女性	87.5 歳
	平均	85.3 歳

平均入所期間	男性	2年4ヶ月
	女性	1年11ヶ月
	平均	2年

表4及び図2に平成28年3月末の入所者の介護度を示す。

表4 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要介護1	4	12	16人
要介護2	1	14	15人
要介護3	6	14	20人
要介護4	6	8	14人
要介護5	6	7	13人
合計	23	55	78人

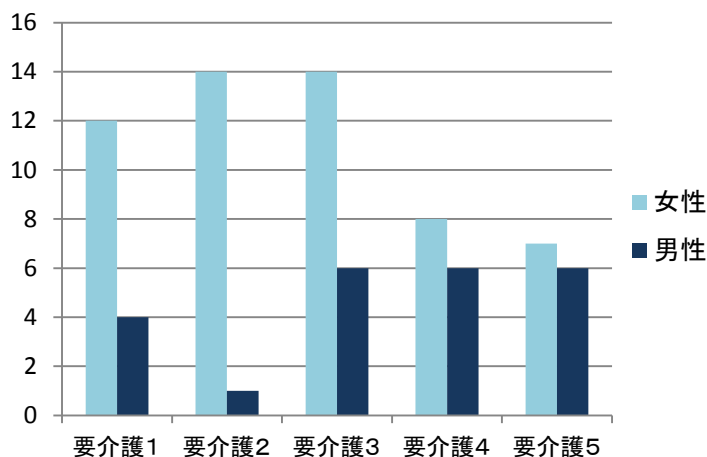
要介護度	27年度	26年度
要介護1:	20.5%	16.7%
要介護2:	19.2%	23.6%
要介護3:	25.6%	33.3%
要介護4:	18.0%	13.9%
要介護5:	16.7%	12.5%
平均介護度	2.91	2.82

<認知区分状況>

なし	11名	14%
(I)時々あり	9名	11%
(II)ややあり	38名	49%
(III)やや多い	13名	17%
(IV)非常に多い	6名	8%
(M)重度	1名	1%

平均介護度は2.91となり、介護度2と3が減少し、介護度1と4が増加している。介護度5も増加し、16.7%であった。平均介護度は横ばいの状況。また、嚥下困難で、経管栄養(胃ろう)のご利用者様が4名入所している。

図2 要介護度分布状況 人



2. 短期入所療養介護

表5 短期入所療養介護月別利用者数の状況

表5に短期入所療養介護事業(空床利用型ショートステイ)月別利用者数の状況を示す。

26年度は延べ275日の利用であったが、27年度は265日と10日減となった。老健の稼働率が前年より高くなったのが要因と思われる。

1日平均0.72人であった。

	末日現在利用者数	延べ日数			当該月実人数
		介護保険	私的契約	合計	
H27.4月	1	31	0	31	4人
5月	1	24	0	24	5人
6月	0	14	0	14	2人
7月	0	12	0	12	2人
8月	1	25	0	25	3人
9月	0	2	0	2	1人
10月	1	14	0	14	3人
11月	2	77	0	77	9人
12月	0	11	0	11	2人
H28.1月	1	28	0	28	2人
2月	0	16	0	16	2人
3月	0	11	0	11	2人
合計	7	265	0	265日	37人

<介護度別ショートステイ利用者延べ日数>

予防ショート	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	25	47	41	79	73	265日

3. 行事实施内容

表6に平成27年度中に実施した行事等を示す。花見等外出は、入所者様の楽しみの一つとなっている。

火災の防止と万一の災害発生に備えて、夜間と昼間を想定した総合避難訓練を計3回実施した。

表6 平成27年度年間行事实施表

月	行事計画	日	実施
4	花見	5	花見(ドライブ)
5	母の日・父の日 感謝の集い	10	母の日・父の日 感謝の集い
		25・29	外食デイ
		28	避難訓練(夜間想定)
6	園児との交流会	1	ほたる見物
		16	園児との交流会
7	七夕会	16	七夕会
		23	避難訓練(昼間想定)
8	花火大会	22	花火大会
9	敬老会	20	敬老会

月	行事計画	日	実施
10	運動会 園児との交流会	6・15	福祉体験(中学生)
		7~9	職場体験(中高生)
		22	避難訓練(夜間想定)
		25	運動会
		28	園児との交流会
11	音楽祭	14	音楽祭
12	クリスマス会	18	クリスマス会
	もちつき大会	27	もちつき大会
1	新年会 初詣 弁財天	2	新年会
		8	初詣
		16	弁財天
2	節分会	7	節分会
3	ひなまつり会		

4. 職員研修

4.1 施設外研修

平成27年度中における職員研修の実施状況を表7に示す。施設内外での研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

表7 職員の研修実施状況(施設外)

H27.4月～H28.3月

部署・人数	職種	実施日	場所	内容
施設・1人	理学療法士	4月18日～4月19日	福岡市	生活行為向上リハビリテーション研修会
施設・1人	理学療法士	4月24日	諫早市	平成27年度介護報酬改定説明会
施設・1人	事務長	4月21日	長崎市	県南地区事務長会
施設・1人	栄養士	5月29日～5月30日	長崎市	第1回栄養・給食部研修会
施設・1人	事務長	6月2日	諫早市	長崎県老健協会定時総会
施設・1人	医師	6月13日～6月14日	福岡市	第129回西日本整形・災害外科学会学術集会
施設・1人	介護	6月24日	長崎市	夜勤時のリスクマネジメント研修会
施設・1人	介護	7月7日～7月8日	長崎市	平成27年度長崎県身体拘束廃止推進員養成研修
施設・1人	理学療法士	7月18日	福岡市	協会指定研修
施設・1人	事務長	6月23日	長崎市	県南地区事務長会
施設・1人	介護	7月30日	新上五島町	防火管理者講習会
施設・2人	理学療法士・介護	8月22日	福岡市	拘縮予防と褥瘡予防
施設・1人	看護	8月8日	諫早市	平成27年度准看護師研修会
居宅・1人	介護支援専門員	9月7日～9月9日	長崎市	地域における総合相談・生活支援研修会
施設・2人	介護	10月15日	長崎市	県南地区看護・介護部会
施設・1人	事務長	10月29日	長崎市	県南地区事務長会
施設・1人	栄養士	10月31日	佐世保市	臨床での摂食嚥下障害の考え方と実践
施設・2人	介護	11月6日	諫早市	第21回長崎県介護老人保健施設研究大会
施設・1人	医師	11月14日～11月15日	宮崎市	第130回西日本整形・災害外科学会学術集会
施設・2人	介護	12月13日	新上五島町	摂食嚥下研修会
施設・1人	栄養士	12月14日	新上五島町	栄養士会第2回研修会
施設・1人	事務長	12月15日	長崎市	県南地区事務長会
施設・1人	事務長	12月16日	新上五島町	雇用管理改善啓発セミナー
施設・1人	支援相談員	12月19日	佐世保市	平成27年度長崎県高齢者虐待防止シンポジウム
施設・1人	看護	1月17日	福岡市	ストレスチェック実施者養成講座
施設・1人	栄養士	1月19日	新上五島町	栄養士会第3回研修会
施設・1人	事務長	1月31日	長崎市	地域の絆づくりセミナー
施設・1人	事務長	2月1日	長崎市	社会福祉法人制度改革対応セミナー
施設・2人、通所1人	介護	2月9日	新上五島町	社会福祉施設職員等の防火研修
施設・1人	事務長	2月18日	長崎市	県南地区事務長会
施設・1人	理学療法士	2月20日～2月21日	佐世保市	第27回長崎県理学療法士学術大会
施設・1人	看護	2月21日	福岡市	ストレスチェック実施者養成講座
施設・1人	介護	2月23日	新上五島町	社会福祉施設職員等の防火研修
施設・1人	事務長	3月9日	諫早市	長崎県老健協会臨時総会・研修会
施設・1人	事務長	3月10日	新上五島町	平成27年度上五島地区離島医療教育研究会
施設・1人	看護	3月21日	福岡市	ストレスチェック実施者養成講座
居宅・1人	介護支援専門員	3月5日	佐世保市	第8回長崎県介護支援専門員研究大会
居宅・1人	介護支援専門員	3月11日	長崎市	平成27年度ソーシャルワーク実践力強化研修

4.2 施設内研修

サービス向上に不可欠な職員の資質向上、及び施設経営理念の理解のため各種研修会を開催した。さらに、参加した各種研修会に関する報告会を開催し、新しいサービス内容、技術習得のための内部研修を実施した。これらの結果を表8に示す。

表8 施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
5月28日	<食中毒予防について> ・食中毒の予防や発生時の対応について	40名
7月30日	<身体拘束廃止について> ・身体拘束廃止研修会の研修報告	39名
8月31日	<リスクマネジメントについて> ・施設におけるリスクマネジメントについて	45名
9月28日	<シーティングについて> ・座位保持に関する基本的事項等について	38名
10月26日	<救急救命講習会> ・消防署員による救急救命講習会	36名
11月30日	<褥瘡予防・インフルエンザ予防について> ・予防策、発生時の対応について	39名
1月28日	<事故発生防止について> ・事故報告分析及びグループワーク	36名
2月29日	<高齢者虐待防止について> ・高齢者虐待防止研修報告	38名

Ⅱ 通所リハビリテーション事業所つくしの里の経営

1. 通所リハビリテーション

1.1 基本方針

(介護予防)通所リハビリテーション事業は、サービス利用者に対し、個人の状態に応じた理学療法、集団訓練、レクリエーション等、リハビリテーションの提供により、心身機能の維持・回復、日常生活の自立、社会的孤立感の解消を図ると同時に、利用者家族の身体的、精神的負担の軽減に資するよう事業を実施した。

1.2 サービスの内容

- ①利用日 : 年末年始の5日間(具体的には、12月30日～1月3日まで)を除く、月曜日から土曜日に実施する。ただし、年末年始の期間はサービス利用者の希望に沿った形で、午前中に送迎及び入浴、食事サービスを提供する日を1日設ける。
- ②利用者定員 : 1日40名(ただし、生きがい活動支援通所事業利用者を含む)。
- ③利用料 : 要介護度、利用内容、保険給付率により1～2割を自己負担とする。
- ④サービスの提供 : 利用者の居宅サービス計画、通所リハビリテーション計画に基づき必要とされる内容を的確に提供していく。

1.3 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1)送迎 : リフト車などの専用車両による送迎を実施。
- 2)健康管理 : 医師、理学療法士、看護などの専門職による疾病、障害、リスクの評価、管理や、日常的な健康状態のチェックを行う。
- 3)食事 : 個人の状態や好みに合わせた、温かい食事の提供。
- 4)入浴 : 利用者個人の状態に合わせ、リフト浴、特浴を実施。
- 5)生活ケア : 移動、排泄などの、利用者それぞれの状態に合わせた介護を提供する。
- 6)個別訓練 : 理学療法士の指導のもとに、個別的に関節可動域訓練やADL訓練等を実施。
- 7)レクリエーション : 「楽しみながら体と頭を動かす」を目標・目的に、体操・ゲーム等を実施する。
また、「季節を楽しむ、屋外へ」等の観点から屋外散歩・バスハイクを実施する。
・集団訓練
- 8)栄養管理 : 管理栄養士を中心に必要性のある利用者に対して本人又は家族に栄養指導を実施する。
- 9)生活相談 : 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等を行う。

1.4 日課表

9:15		11:45		13:30		15:30		16:00					
専用車にて迎え	健康チェック	入浴	機能訓練	物理療法	マシントレーニング	昼食	くつろぎ	集団訓練	マシントレーニング	レクリエーション	おやつ	リハビリ	専用車にて送り

1.5 利用者状況

表9、10に平成26年度、27年度要介護度別通所リハ利用者数を示す。平成27年度の利用登録者数の変動状況としては、登録抹消者数28名(死亡13名・施設入所等15名)、新規登録者数が20名となっている。

利用延べ人数は228名の減となっている。登録者数が全体として減っており、新規登録者を積極的に受け入れ、併せて各曜日の登録人数(1日の利用定員は40名)の平準化を検討するとともに、1日当たりの利用人数も増やすべく取り組んでいきたい。

表9 平成26年度 要介護度別通所リハ利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	77	79	83	83	65	63	77	72	68	72	80	81	900人
要支援2	121	101	94	91	67	101	99	96	97	88	86	84	1,125人
要介護1	285	314	276	278	257	252	238	232	222	227	221	233	3,035人
要介護2	216	221	238	205	247	273	257	255	256	226	239	262	2,895人
要介護3	49	50	67	68	63	60	48	47	41	41	47	57	638人
要介護4	20	16	18	19	19	16	14	20	11	8	13	17	191人
要介護5	30	16	28	36	34	32	23	21	19	15	25	26	305人
合計	798	797	804	780	752	797	756	743	714	677	711	760	9,089人

表10 平成27年度 要介護度別通所リハ利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	85	84	81	96	70	93	92	78	79	72	74	78	982人
要支援2	80	90	86	83	52	71	80	64	62	66	90	99	923人
要介護1	255	261	255	267	223	254	249	226	209	205	231	266	2,901人
要介護2	236	247	266	256	235	240	252	209	223	177	214	230	2,785人
要介護3	33	31	40	49	67	71	63	70	82	50	61	63	680人
要介護4	17	17	24	27	26	39	40	29	25	25	28	33	330人
要介護5	22	19	21	23	26	20	18	16	27	13	22	33	260人
合計	728	749	773	801	699	788	794	692	707	608	720	802	8,861人

表11 地区別通所リハ利用登録者数及び平均年齢

居住地	性別		計	最高	最低	平均
	男	女				
有川	22	60	82人	96歳	46歳	79歳
新魚目	3	3	6人			
上五島	6	7	13人	99歳	47歳	84歳
若松	1	0	1人			
奈良尾	0	0	0人	全体平均	83歳	
その他	0	0	0人			
合計	32	70	102人			

表12 通所リハ月別利用者数の推移(介護・要支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	26	26	26	27	25	26	27	25	26	23	25	27	309日
利用者数	728	749	773	801	699	788	794	692	707	608	720	802	8,861人
1日平均	28.0	28.8	29.7	29.7	28.0	30.3	29.4	27.7	27.2	26.4	28.8	29.7	28.7人

2. 生きがい対応型デイサービス

2.1 基本方針

日常生活において、自立した生活が維持できるようレク活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、機能訓練指導員の指導によるパワーリハビリテーションを実施し体力の維持向上を図った。

2.2 サービスの内容

- ①利用日は年末年始の5日間を除く月曜日から土曜日で実施
- ②利用料金は850円
- ③機能訓練指導員によるパワーリハビリテーションの実施
- ④レクリエーション活動(輪投げ、風船バレー、ボール送り、空き缶ボーリングなど)
- ⑤クラブ活動(手工芸、習字、カラオケ、ヨガ指導など)
- ⑥バスハイク(季節に応じて、花見など)
- ⑦生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- ⑧その他日常生活に必要なサービス

2.3 利用者状況

表13に年間利用者数を示す。平成27年度の利用者の変動状況としては、2名の減となっている。

表13 生き甲斐デイ利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19年度	32	31	29	28	28	29	27	26	25	25	25	25	330人
20年度	24	23	24	23	22	22	22	21	20	18	19	19	257人
21年度	19	19	18	19	18	16	17	18	17	17	16	17	211人
22年度	17	18	16	15	15	15	15	15	15	14	14	14	183人
23年度	13	14	13	13	13	14	14	14	12	12	12	11	155人
24年度	35	41	40	38	29	33	27	33	31	26	27	31	391人
25年度	30	31	31	32	28	30	25	22	14	15	16	19	293人
26年度	17	18	12	16	8	12	14	11	11	10	12	11	152人
27年度	10	14	12	10	10	6	10	7	6	5	6	8	104人

表14 生きがい対応型デイサービス地区別利用登録者数

居住地・性別	男	女	合計		最高	最低	平均
有川	0	2	2人	男	—	—	—
新魚目	0	0	0人				
上五島	0	0	0人	女	95歳	89歳	92歳
若松	0	0	0人				
奈良尾	0	0	0人	全体平均	92歳		
その他	0	0	0人				
合計	0	2	2人				

表15 27年度生きがい対応型月別サービス実施回数及び利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	26	26	26	27	25	26	27	25	26	23	25	27	309日
利用者数	10	14	12	10	10	6	10	7	6	5	6	8	104人
1日平均	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3人

通所リハと合わせると、1日平均利用者数は29人（介護職員の配置は40名体制となっており、1日当たりの利用人数を増やすことが最大の課題である）。

2.4 行事实施内容

表16 行事实施内容

	計 画	実 施
4月	花見	
5月	菖蒲湯	
6月	東浦小体験学習	東浦小交流会
		東浦小体験学習
7月	七夕会	七夕会
	東浦小体験学習	東浦小体験学習
		避難訓練
8月		
9月		
10月		上五島中福祉体験
		有川中福祉体験
11月	音楽祭	音楽祭
12月	忘年会	
	クリスマス会	クリスマス会
1月	初詣	
2月	節分	節分
3月	ひなまつり	

Ⅲ 短期入所生活介護事業所の経営

表17 短期入所生活介護:月別利用者数の状況

表17に短期入所生活介護事業(ショートステイ)月別利用者数の状況を示す。

26年度は延べ1,095日の利用であったが、27年度は1,087日と8日減であった。稼働率は74.2%、1日平均3.0人であった。

	末日現在 利用者数	延べ日数			当該月 実人数
		介護保険	私的契約	合計	
H27.4月	0人	67	0	67	10人
5月	1人	81	0	81	9人
6月	3人	88	0	88	9人
7月	3人	111	0	111	11人
8月	3人	89	0	89	10人
9月	1人	83	0	83	10人
10月	3人	103	0	103	11人
11月	2人	102	0	102	11人
12月	0人	91	0	91	9人
H28.1月	3人	80	0	80	8人
2月	4人	94	0	94	11人
3月	4人	98	0	98	11人
合計	27人	1,087	0	1,087日	120人

<介護度別ショートステイ利用者延べ日数>

予防ショート	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
11	481	226	75	294	0	1,087日

IV 居宅介護支援事業所つくしの里の経営

1. 要介護度別利用状況

27年度は、介護支援専門員が1名体制で、登録者数は前年度と同数で推移した。施設利用者3名、死亡5名、新規利用者数は9名。

表18 利用者の要介護度別認定者

	男	女	合計
要支援1	0	0	0人
要支援2	0	0	0人
要介護1	3	14	17人
要介護2	0	7	7人
要介護3	2	1	3人
要介護4	1	2	3人
要介護5	1	0	1人
合計	7	24	31人

図3 介護度別利用者数

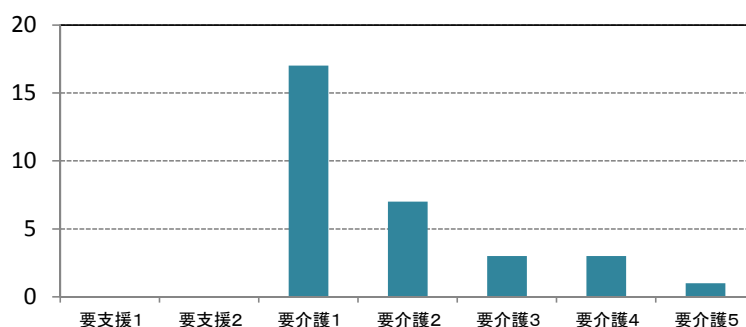
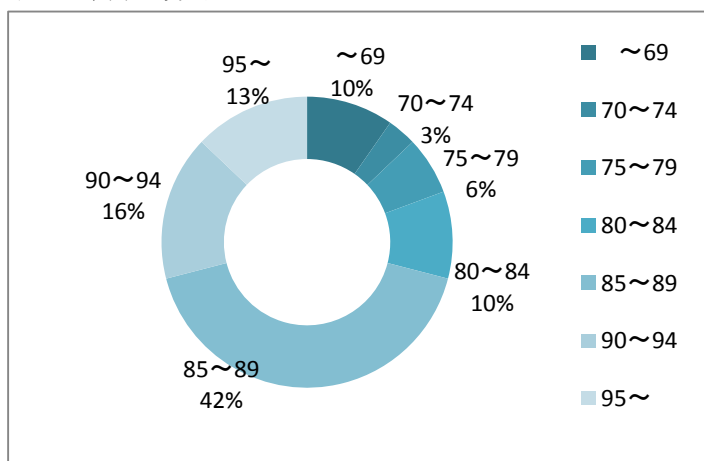


表19 年齢別利用者数

区分	男	女	合計
～69	2	1	3人
70～74	1	0	1人
75～79	0	2	2人
80～84	0	3	3人
85～89	3	10	13人
90～94	0	5	5人
95～	1	3	4人
合計	7	24	31人

図4 年齢別分布



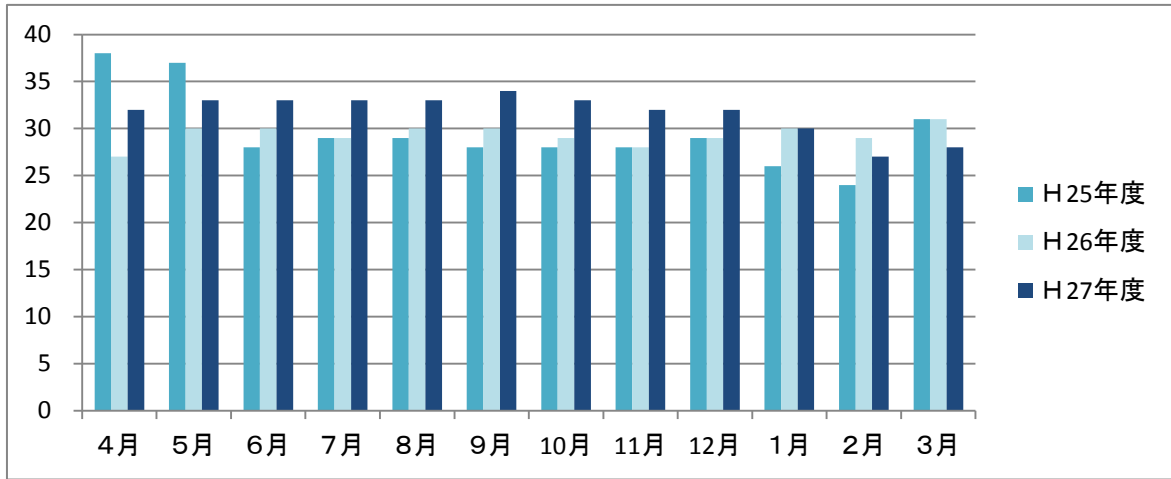
2. 給付管理表の提出状況

給付管理表の提出件数は、前年度に比べると、27年度は増加した。

表20 給付管理表の提出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H13年度	45	47	55	52	61	53	52	55	53	52	54	50	629件
H14年度	46	46	47	46	46	47	51	53	49	46	51	53	581件
H15年度	49	53	52	55	58	59	68	69	69	61	58	80	731件
H16年度	73	68	69	66	64	70	63	68	73	74	71	75	834件
H17年度	80	82	78	90	90	69	81	78	77	86	81	73	965件
H18年度	68	68	67	61	59	51	45	44	41	33	32	30	599件
H19年度	33	28	30	28	31	32	34	36	37	34	36	37	396件
H20年度	40	41	40	40	40	41	45	45	44	41	42	41	500件
H21年度	40	41	43	42	39	40	43	44	43	44	44	46	509件
H22年度	48	49	47	48	51	48	50	49	48	49	50	49	586件
H23年度	46	45	44	42	45	40	40	38	39	38	37	40	494件
H24年度	40	43	44	40	42	44	43	44	40	39	42	38	499件
H25年度	38	37	28	29	29	28	28	28	29	26	24	31	355件
H26年度	27	30	30	29	30	30	29	28	29	30	29	31	352件
H27年度	32	33	33	33	33	34	33	32	32	30	27	28	380件

図5 給付管理表の提出件数

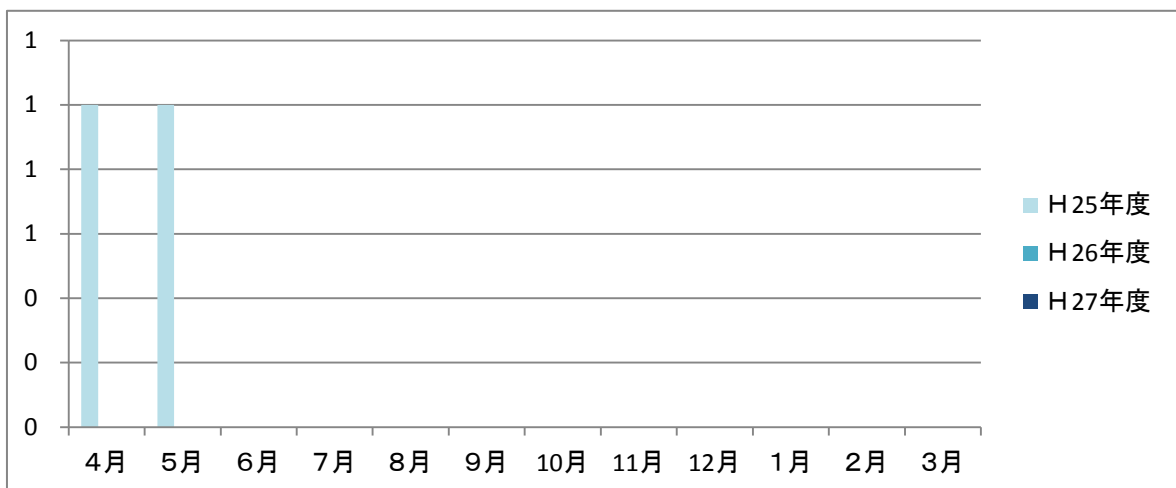


< 予防給付プラン作成件数 >

平成27年度は、受託無。

表21 予防プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	32	34	31	34	35	31	34	32	31	31	30	28	383 件
H20年度	28	28	28	28	28	27	25	27	26	24	26	26	321 件
H21年度	27	30	28	28	28	27	25	27	24	26	28	29	327 件
H22年度	26	27	28	28	28	27	27	27	26	23	23	29	319 件
H23年度	25	25	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74 件
H24年度	12	12	12	15	16	14	16	17	16	15	15	15	175 件
H25年度	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 件
H26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
H27年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件



V 介護報酬の状況

表22に、平成27年度における介護老人保健施設(入所事業・短期入所事業・居宅介護支援)、通所リハビリ事業の収入状況を示す。

事業所全体の収入は427,713千円で前年度(424,637千円)と比較して3,076千円の収入増となった。入所事業で4,657千円増収、ショートステイ事業(短期療養・短期生活)については、196千円の減収。居宅介護支援事業は、27年度も1人体制で490千円の増収であった。通所事業全体としては、利用者が延べ228人減となったので1,875千円の減収となった。

表22 事業別収支状況

単位:千円

	総合計	介護老人保健施設					通所リハ				在宅介護支援センター
		介護老人保健施設	短期入所療養介護	短期入所生活介護	居宅介護支援	合計	通所リハ	通所介護	生き甲斐	合計	
27年度	427,713	328,601	3,280	10,481	4,838	347,200	80,425	-	88	80,513	-
26年度	424,637	323,944	3,537	10,420	4,348	342,249	82,218	-	170	82,388	-
増減	3,076	4,657	△ 257	61	490	4,951	△ 1,793	-	△ 82	△ 1,875	-
25年度	419,832	318,783	3,894	12,087	4,413	339,177	80,405	-	250	80,655	-
24年度	430,830	330,348	2,529	11,345	7,225	351,447	79,046	-	337	79,383	-
23年度	421,508	322,804	4,137	11,783	6,540	345,264	75,784	-	460	76,244	-
22年度	429,341	333,338	2,307	11,372	8,752	355,769	73,023	-	549	73,572	-
21年度	422,379	339,364	2,732	2,480	8,029	352,605	63,855	5,385	534	69,774	-
20年度	339,402	326,730	3,300	-	7,813	337,843	31,050	34,684	785	66,519	1,559
19年度	332,312	321,062	2,900	-	6,742	330,704	26,761	29,625	3,569	59,955	1,608
18年度	328,316	314,001	2,434	-	8,581	325,016	25,754	19,556	4,069	49,379	3,300
17年度	337,748	316,381	5,927	-	9,965	332,273	27,125	11,286	4,560	42,971	5,475
16年度	351,812	332,968	4,237	-	9,116	346,321	27,888	8,768	4,238	40,894	5,491
15年度	352,790	336,860	2,892	-	7,546	347,298	24,368	8,535	5,071	37,974	5,492
14年度	365,216	354,188	219	-	5,503	359,910	25,670	5,140	5,151	35,961	5,306

<介護職員処遇改善加算>

介護職員処遇改善加算及び介護職員処遇改善交付金の支給状況【上記の収入に含む】

単位:千円

種別	年度	入所関係				通所関係	合計
		介護老人保健施設	短期入所療養介護	短期入所生活介護	小計	通所リハ 小計	
介護職員処遇改善加算	27年度	2,869	30	207	3,106	1,114	4,220
	26年度	3,846	41	214	4,101	1,309	5,410
	25年度	3,887	32	225	4,144	1,261	5,405
	24年度	3,914	32	231	4,177	1,257	5,434
介護職員処遇改善交付金	23年度	3,876	48	242	4,166	1,229	5,395
	22年度	4,056	24	236	4,316	1,163	5,479
	21年度	1,387	8	0	1,395	362	1,757

VI 事故、ひやり・はっと発生状況

1. 事故発生状況

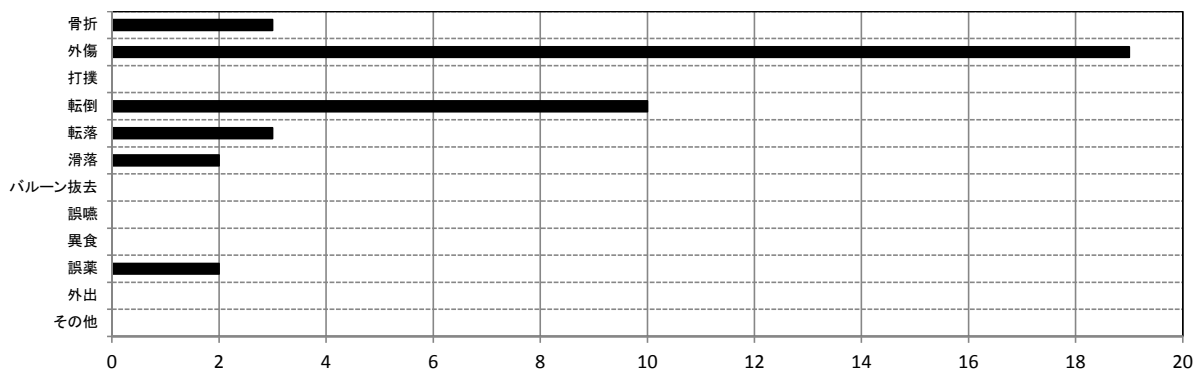
表23、図6に平成27年度中における事故発生件数を示す。27年度は39件の事故報告書が報告され、前年度より3件の減少となっている。事故の内容で多く発生したのが外傷19件、転倒10件、骨折3件、転落3件となっている。外傷の事故原因では、皮膚が極端に弱いご利用者様に対し、車いす等への移乗介助、入浴介助や更衣介助の際に外傷を負わせてしまう事故等が多く発生している。対応策では、フットレスト等の位置の安全確認、皮膚を保護するカバーなどを使用して事故の再発防止に努めているが、外傷事故の減少に繋がっていない。また、骨折事故に関しては、ご自分で歩行可能なご利用者様が転倒し、骨折するというケースが3件中2件を占めた。

事故発生防止委員会では、事故防止のため対応策を話し合い、さらに各職種の会議の中でも検討している。報告書を基に事故原因を分析し、業務に活かせるように取り組んでいく必要がある。職員一人一人が事故に対しての意識改革を図り、こまめな居室の巡回、身体状況の把握、職員間の情報の共有化を図りながら、事故防止に取り組んでいかなければならない。

表23 事故報告件数(老健、短期入所、通所リハ)

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
骨折	介助中													0	3
	自力		1									1		2	
	不明									1				1	
外傷	介助中	2			1	1		1				3	1	9	19
	自力									2			1	3	
	不明					1	1				1	1	3	7	
打撲	介助中													0	0
	自力													0	
	不明													0	
転倒	トイレ使用中								1					1	10
	居室	1	1						1					3	
	車椅子からの立ち上がり													0	
	廊下・ホールがり				1	1				1		1	2	6	
転落	椅子													0	3
	車椅子	1							1					2	
	ベッド											1		1	
滑落	椅子													0	2
	車椅子						2							2	
	ベッド													0	
経管バルーン抜去	介助中													0	0
	自力													0	
火傷	介助中													0	0
	自力													0	
異食	食べられない物を口に入れた													0	0
誤嚥	物をのどに詰らせた													0	0
誤薬	誤った薬を服薬	2												2	2
外出	敷地外まで外出													0	0
その他	車両破損、車両追突													0	0
合 計		6	2	0	2	3	3	1	3	4	1	6	8	39	39

図6 事故発生状況



2. ひやり・はっと報告状況

表24、図7にひやり・はっと報告状況を示す。前年度より46件増加。この報告書は事故には至らなかったが、一歩間違えれば事故につながっていたかもしれない報告であり、事故を未然に防ぐために重要な役割を果たすものである。この考えが職員に周知・徹底された結果として報告書の提出が増えたと考える。今後も些細なことであっても報告書を提出するよう働きかけていきたい。

表24 ひやりはっと報告件数(老健、短期入所、通所リハ)

ひやりはっと		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言													0	0
転倒	転倒しそうになる													0	24
	転倒したが外傷なし	1	1	3	1		1	2	2	3	7	2	1	24	
転落	転落しそうになる										1			1	6
	転落したが外傷なし			1	1			2				1		5	
滑落	滑落しそうになる						1		1					2	35
	滑落したが外傷なし		4	2	1			6	4	2	5	7	2	33	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した		3	3	1	6	1	3				2	4	23	33
	〃 立ち上がろうとした			3	3	1					3			10	
異食	害にならない物を口にし、はき出した						1	1						2	3
	〃 口にいれようとした											1		1	
誤薬	薬を誤配し、飲む前に気づいた													0	0
外出	敷地内外出									1		1		2	2
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無													0	0
その他	お茶をこぼす、ぶつかりそう			2	1	3	3	3	2	3		1	2	20	20
合計		1	8	14	8	10	7	17	9	9	16	15	9	123	123

図7 ひやり・はっと報告状況

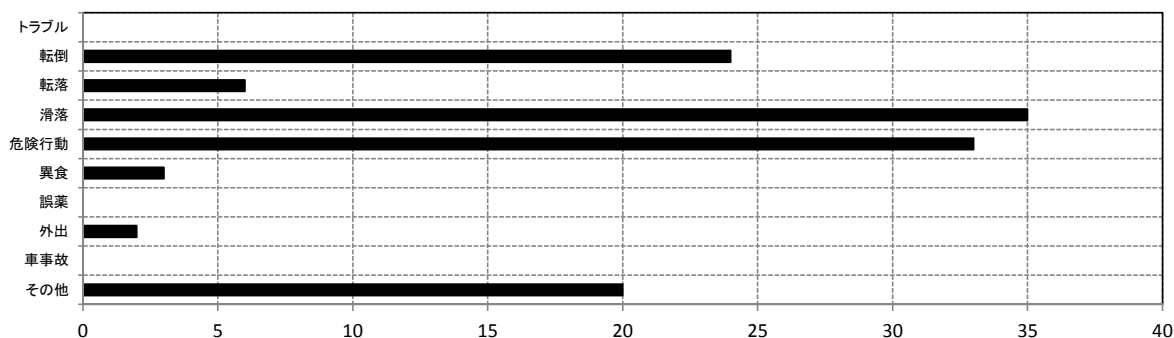


図6 事故発生状況

その他	0
外出	0
誤薬	2
異食	0
誤嚥	0
バルーン抜去	0
滑落	2
転落	3
転倒	10
打撲	0
外傷	19
骨折	3

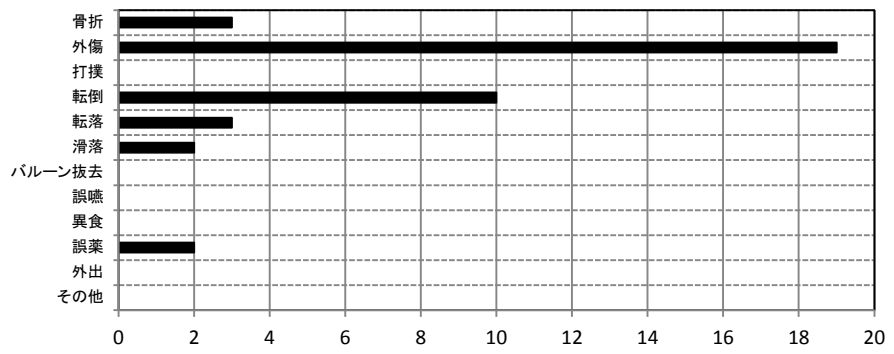
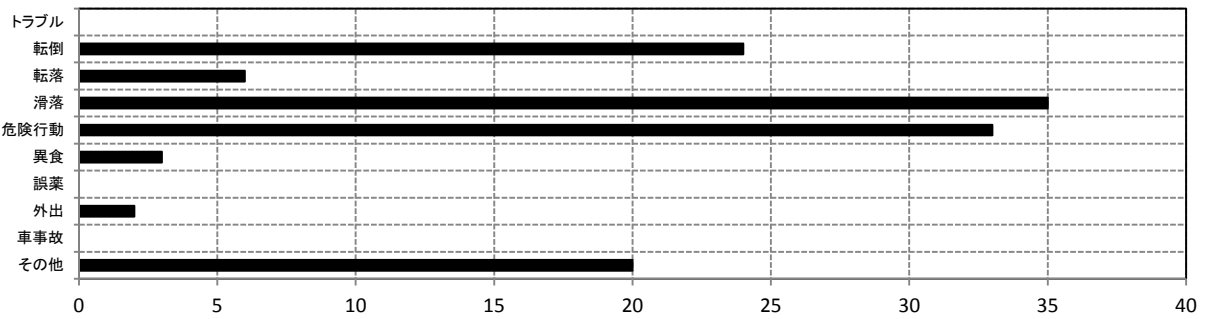


図7 ひやり・はっと報告状況



その他	20
車事故	0
外出	2
誤薬	0
異食	3
危険行動	33
滑落	35
転落	6
転倒	24
トラブル	0